

JENESYS2020 日シンガポール・オンライン交流 (日本語コミュニケーション・日本文化(サブテーマ: 観光・日本食))の記録

1. 概要

【目的】シンガポールの日本語学習者等が、観光・食をテーマとした聴講、視察及び日本人との交流プログラムに参加し、日本の歴史、社会、文化についてより深く理解し、その魅力を多くの人と共有することで、日本とシンガポール間の相互理解の向上と友好関係の強化を主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】シンガポールの専門学生・教員 計 128 名

【訪問地】東京都、岩手県、大阪府

【日程】

このプログラムは、JENESYS2020 日シンガポール交流(日本語コミュニケーション・日本文化(サブテーマ: 日本食・科学技術))と合同で実施しました。

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
2021 年 6 月 18 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 シンガポールの専門学生・教員 65 名 1. 講義 「Japan Today」 講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏 2. 質疑応答	歴史、経済、社会福祉、文化など幅広い分野に関する日本理解講義を聴講し、参加者からは、日本に生息する野生動物やコロナ禍でのオリンピック開催における日本の経済効果等についての質問がありました。日本の移民政策についての質問に対しては、講師から詳しい解説があり、シンガポールの事例と比較しながら興味深く聞いていました。
2021 年 6 月 25 日 岩手県陸 前高田市	【ウェビナー・質疑応答】 シンガポールの専門学生・教員 53 名 1. 講義 「シンガポールの復興ありがとうホストタウンである岩手県陸前高田市によるホストタウンの取組みと地域の魅力紹介」 講師：岩手県陸前高田市 国際交流員 サラ・チュウ氏	講師がシンガポール出身ということもあり、講義後の質疑応答は盛んに行われました。参加者からは、陸前高田市の郷土料理や特産品、人々の生活や英語は通じるかどうか等についての質問があり、ホストタウンに興味を示していました。在住外国人から見た日本や陸前高田市の紹介を聴講し、6 月 18 日の日本理解講義とは異なる視点で日本について理解を深めたようでした。

	2. 質疑応答	
以下 6 日間の参加人数：10 名		
2022 年 2 月 2 日 ～	【動画視聴】 1. 外務省挨拶 2. 事前オリエンテーション 3. 日本理解講義 4. 日本文化理解（京都） 5. ホームビジット体験 6. 日本語学習	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 2 月 9 日 東京都	【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】 1. オリエンテーション（グループ別） 2. 日本語と日本文化レッスン 3. ウェビナー・質疑応答 「日本文化及び SNS 発信講座」 講師：TOKYO インフルエンサーアカデミー 代表 中島 侑子氏 4. グループ別交流	「日本語と日本文化レッスン」では、講師の呼びかけに楽しそうに答えていました。 「日本文化及び SNS 発信講座」では、行きたい場所、好きな日本食、興味ある場所など多くのコメントが寄せられました。グループ別交流では、「将来は奨学生として日本へ留学したい」「日本人の友達を作りたい」など本プログラムを通しての期待を共有しました。
2022 年 2 月 10 日 大阪府	【ウェビナー、視察】 「関西・大阪の魅力紹介」 講師：公益財団法人大阪観光局 留学生支援推進室 日高 ちひろ氏 1. 講義 2. 質疑応答	講師の問いかけに参加者は積極的に答えていました。講師の「関西で行きたい場所は」の問いかけに、「京都に行き、自国の伝統文化と比較したい」「大阪御堂筋のイルミネーションを家族と一緒に楽しみたい」「奈良で鹿に餌をあげたい」等、具体的な回答が寄せられました。
2022 年 2 月 11 日 岩手県盛岡市	【ホームビジット・交流】 1. 開会、次第説明 2. IGR 銀河鉄道観光 所長 高橋 和久氏より岩手県盛岡市について紹介 3. ホストファミリー紹介 4. グループに分かれてホストファミリーと交流 5. ホストファミリー、参加者から感想発表 6. 閉会	ホストファミリーが、庭の積雪の光景や雪だるまを見せながら、玄関や家の中を案内し、家族の日常生活、仕事、おせち料理、書道、茶道等を、同家庭に長期滞在する留学生も一緒に参加し、留学生の目線も加えて動画、写真を使い紹介しました。参加者に自国の新年の迎え方等を質問するなど、相互交流を十分に深めることができました。一般の日本人の生活に加え、雪のある生活、災害が多く発生する国の備え等も知ることができる有意義な交流会となりました。参加者からも、「是非、実際に日本に行きたい」

		などの感想がありました。
2022 年 2 月 14 日 東京都	【ワークショップ】 1. プログラムの振り返り 2. アクション・プラン策定、発表準備	グループに分かれ、プログラム全体を通しての学びから、アクション・プランを策定し、報告会にむけて発表の準備を行いました。
2022 年 2 月 15 日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評	プログラム後 3 か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。

2. 記録写真

	
2021 年 6 月 18 日【ウェビナー・質疑応答】	2021 年 6 月 18 日【ウェビナー・質疑応答】
	
2021 年 6 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】	2021 年 6 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】
	

<p>2022 年 2 月 9 日【オリエンテーション】講師の後に続いて日本語を話す参加者</p>	<p>2022 年 2 月 9 日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子</p>
	
<p>2022 年 2 月 10 日【ウェビナー、視察】講師によるクイズ</p>	<p>2022 年 2 月 11 日【ホームビジット・交流】訪問先の家族が習字を披露する様子</p>
	
<p>2022 年 2 月 15 日【報告会】プログラムの振り返りをする参加者</p>	<p>2022 年 2 月 15 日【報告会】集合写真</p>

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加高校生

日本と日本の文化について学ぶことができ、とても楽しかったです。このプログラムに参加する前には、日本について知らなかったことがたくさんあったのですが、日本の特徴をより深く理解することができ、将来、日本を訪れたいと思うようになりました。

◆ 参加高校生

ウェビナーでは講師が熱心に陸前高田市について説明してくれたので、非常に楽しく聞くことができました。今回のオンラインプログラムを通して、日本の地方について興味を持ちました。

◆ 参加高校生

日本に住んでいるシンガポール人の体験談を聞くのはとても興味深いです。日本の食べ物や観光地について多くのことを学びました。

◆ 参加大学生

とてもよいプログラムだったと思います。日本についてたくさんのことを学び、ホームビジットでは友情を育むことができました。

◆ 参加大学生

とても楽しかったです。また参加したいと思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 受入自治体 講師

とても楽しかったです。また機会があれば、是非参加させていただきたいです。

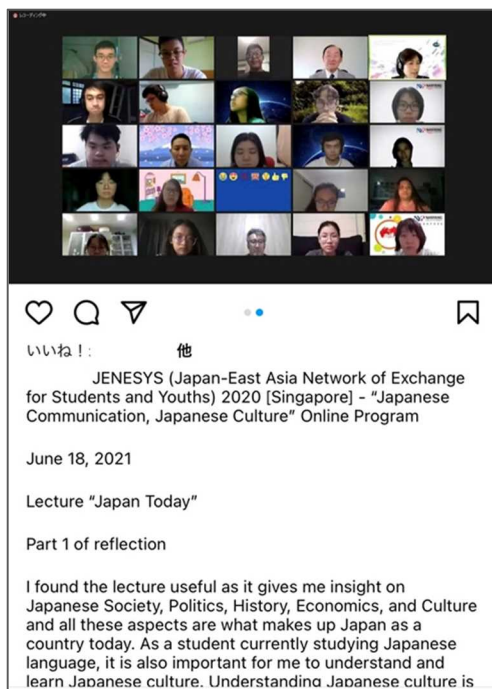
◆ 受入先家庭

当日、ところどころ、どうしたらよいか戸惑うところもあり、私達家族だけではどうにもならないことを、通訳コーディネーターが沢山フォローしてくださりとても助かりました。通訳コーディネーターのおかげで無事に終えることができました。本当にありがとうございます。また、短時間にも関わらず数名のシンガポール学生と交流できたのは良かったです。シンガポールとは無縁でしたが、色々話すうちに身近に感じることができ、また一つ世界が広がりました。オンラインでの交流は初めての経験で、自宅で実際に受け入れるより頭を使いましたが、新しい分野に挑戦できたことはとても良い経験になりました。

◆ ホームビジット協力団体

参加されたホストファミリーに大変好評でした。もっと沢山の地域の方が体験できるよう PR 活動をしていきたいと思います。

5. 参加者の対外発信



2021 年 6 月 18 日 (Instagram)

(6 月 18 日 日本理解講義に関する発信)

この講義は、日本の社会、政治、歴史、経済、文化についての洞察を与えてくれ、これらすべての側面が今日の日本という国を形成しているという点で有益なものでした。現在、日本語を勉強している学生としては、日本の文化を理解し、学ぶことも重要です。日本文化を理解することは、日本人同士の交流や彼らのメンタリティを知ることができ、単に言葉や語彙を覚えるだけでなく、日本語を母国語とする人たちとの交流を深めることができるので重要です。

2600 年以上前に始まった日本の歴史の年表と、日本の主要な歴史的出来事に関する紹介がありました。また、鉄鋼、自動車、ボーイング 787、蛍光灯の生産など、今日の日本の豊かな経済に貢献している活動や、日本がどのようにして先進国の仲間入りをしたのか、特にテクノロジーの分野でどのような発展を遂げたのかを学びました。

今回の講義で私が最も気に入ったのは、日本のテクノロジーについてでした。

日本の技術についての私の予備知識は、日本は

2021 年 6 月 18 日 (Instagram)

(6 月 18 日 日本理解講義に関する発信)

私が日本語や日本文化を学ぼうと思ったのは、父親に日本文化に触れさせてもらったからです。幼い頃から、日本の観光地や音楽、食文化などを紹介するテレビのバラエティ番組を通して、日本の文化に触れてきました。日本にはユニークで豊かな文化があり、西洋の影響を受けながらも、その文化の多くが世代を超えて継承されていることに驚きました。だからこそ、私は日本を学び、理解したいと思ったのです。今回の講義の時間は、日本の歴史、文化、発展といった日本のアイデンティティを概観するのにちょうど良かったと思います。文化という点では、日本の食文化についても学べることも期待していました。私は現在、ポリテクニクで食品科学・栄養学を学んでいるので、日本の食文化を理解し、学ぶことに強い関心を持っています。例えば、日本の各料理の意味や、長寿や健康的なライフスタイルの理由の一つとして知られている日本人の食生活などです。

多くの成功した技術や半導体を発明した世界の国の一つであるということです。この講義では、日本の成功した技術をいくつか紹介してもらいました。例えば、磁気浮上を利用し、地面に接触することなく移動することから、その速度と効率の良さで広く知られている新幹線の革新的な技術です。

#jenesys_sns #JENESYS_ASEAN ##JENESYS
Day 2 JENESYS Program

Got to know more about Southern part of Japan, the Kansai region. The speaker introduced various parts of the Kansai region such as Maishima Incineration Plant and the Cup Noodle Museum in Osaka. But I would like to visit Fushimi Inari Taisha Temple the most. I've seen it in animes and mangas, so it definitely piqued my interests. Once I save enough money, I will definitely travel there!

Photo from:

<https://www.kanpai.fr/kyoto/fushimi-inari-taisha>



Osaka (大阪市) is recognized as one of the most multicultural and cosmopolitan cities in Japan



Famous landmarks in the city include Osaka Castle, Osaka Aquarium Kaiyukan

OSAKA



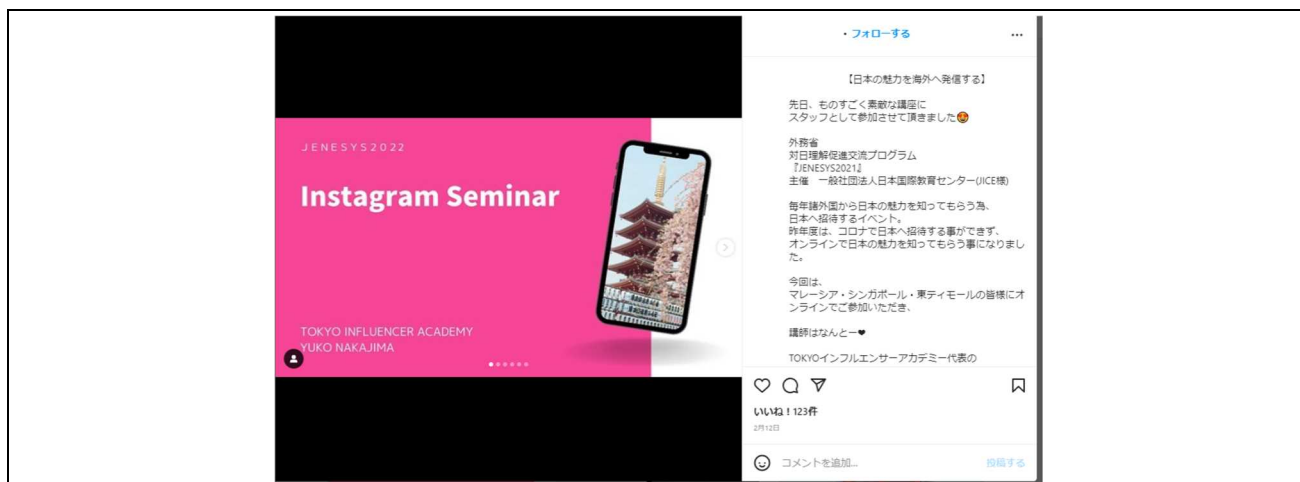
2022 年 2 月 10 日 (Facebook)

南(西)日本、関西地方について学びました。講師からは関西にある多くの観光地、例えば舞洲焼却工場やカップヌードルミュージアムなどが紹介されました。自分が一番行きたいと思ったのは、伏見稲荷大社です。アニメやマンガにも登場するので、強い興味をもちました。たくさん貯金をして、必ず行きたいと思っています。

2022 年 2 月 10 日 (Facebook)

大阪は日本の都市の中で最も多文化で国際的な街です。

大阪にある有名なランドマークには大阪城や水族館「海遊館」があります。



2022 年 2 月 12 日 (Instagram)

(講師スタッフの投稿)

先日、ものすごく素敵な講座にスタッフとして参加させて頂きました。

(中略)

毎年諸外国から日本の魅力を知ってもらう為、日本へ招待するイベント。

昨年度は、コロナで日本へ招待する事ができず、オンラインで日本の魅力を知ってもらう事になりました。今回は、マレーシア・シンガポール・東ティモールの皆様にオンラインでご参加いただき、講師はなんと、TOKYO インフルエンサーアカデミー代表の中島侑子さん。内容は、「SNS 講座」。旅系インフルエンサーであり、インスタグラムの先生でもある中島侑子さんは、まさにベストティチャーです。日本の魅力と沢山の場所の魅力や文化、季節やお祭りの事などお話しいただきながら、その魅力を発信していく Instagram についてノウハウも含めて講義頂きました。

チャットでのやり取りは非常に面白く、

- ・日本のどこに行きたい
- ・何を食べたい
- ・日本についてどんな発信ができるか

など、やり取りがされていて海外学生の皆様もとても楽しそうでした。

日本が好きな気持ち、日本に行きたいという気持ちが伝わってきて日本人として海外との交流はとても嬉しい気持ちで一杯になりました。今は、簡単に海外へ行く事ができない。もどかしい気持ちでいっぱいですが、だからこそ、リアルで旅行に行きたい、色んな国に行きたいという気持ちが募るので、海外旅行が普通に出来る時がおとずれることが楽しみでなりません。


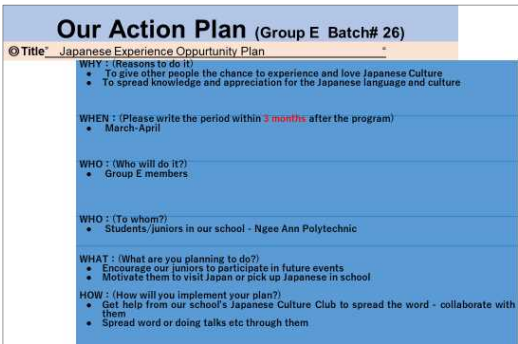
それはきっと世界中の人達が同じように想っている事と思います。

今回は、学生さん達が講座を受けて、日本について発信をご自身なりにする!という企画になっています。#jenesys_sns をつけて発信していただき、ベスト投稿を侑子さんに選んで頂きます。行ったことない場所の事ってなかなか伝えづらいけど、学んだ事や、行きたいなあという想いを投稿するというのも、アウトプットとして良いですね。

あらためて日本の魅力を感じる時間でした。

そして、世界中の方々が気軽に海外旅行に行ける日がきますように。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

グループ 1	
 <p>WHY</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Our goal is to spread awareness and promote tourism in Japan ● We appreciate the Japanese Culture and wish to let more people know about Japan. ● This gives people who were not able to have the opportunity like us to also get to know Japanese culture. <p>HOW</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Through different social media (Insta, facebook, etc) <ul style="list-style-type: none"> ○ Pictures from our host family ○ Online Short articles, food ● Keep in touch with Chiba Family and regularly ask them about their life in Japan through Instagram 	<p>■ 実施理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちのグループ活動の目的は、日本への関心を高め、日本への旅行を喚起することです。 ・日本文化は素晴らしいと思っているので、もっと多くの人々に日本を知ってほしいからです。 ・私たちの活動によって、今回のようなプログラムに参加できなかった人々にも日本文化を知ってほしいと思うからです。 <p>■ 実施期間：3月と4月</p> <p>■ 実施方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なソーシャル・メディア（インスタ、フェイスブック等）を利用 ・ホストファミリーの写真 ・オンラインにて、日本食に関する短文記事を掲載 ・交流したホストファミリーとインスタグラムを通して定期的に連絡を取り合い、日常生活の様子を聞きます。
グループ 2	
 <p>Our Action Plan (Group E Batch# 26)</p> <p>◎ Title: Japanese Experience Opportunity Plan</p> <p>WHY : (Reasons to do it)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● To give other people the chance to experience and love Japanese Culture ● To spread knowledge and appreciation for the Japanese language and culture <p>WHEN : (Please write the period within 3 months after the program)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● March-April <p>WHO : (Who will do it?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Group E members <p>WHO : (To whom?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Students/juniors in our school - Ngee Ann Polytechnic <p>WHAT : (What are you planning to do?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Encourage our juniors to participate in future events ● Motivate them to visit Japan or pick up Japanese in school <p>HOW : (How will you implement your plan?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Get help from our school's Japanese Culture Club to spread the word - collaborate with them ● Spread word or doing talks etc through them 	<p>■ 実施理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人に日本文化を体験してもらい、好きになってもらうため。 ・日本語と日本文化に対する知識と理解を広めるため。 <p>■ 開催時期:3月～4月</p> <p>■ 実施担当：グループEメンバー</p> <p>■ ターゲット：</p> <p>本校の学生・生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後輩にイベントへの参加を呼びかけます ・日本への訪問や学校での日本語学習の動機付けを行います <p>■ 方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の日本文化クラブに協力してもらいます。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)